



潮見っ子

芦屋市立潮見小学校



ほぼ毎日更新中

—保護者アンケートの結果と今後の方向性について—

校長 田淵 雅樹

ご提出いただきました保護者アンケートの結果をお伝えいたします。潮見小学校では、学校教育目標「学び合い 支え合う 心豊かな子どもの育成」の実現のための取り組みについて自己評価し、保護者アンケートの結果も参考にさせていただきながら、来年度の方向性を検討しました。アンケートへのご協力に感謝申し上げますと共に、今後とも本校の教育活動へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

1 各項目について

(1) 90%以上の肯定的な評価を受けた項目

「Aそう思う」「Bだいたいそう思う」の合計(%)で表しています。↓

No	アンケート項目	R7	R6	R5
1	学校は、保護者・地域との意思疎通を積極的に行い、運動会などの学校公開行事やオープンスクールなど、行きやすい機会を多く設けている。	99.2	95.9	97.5
2	学校は、学校だより、学年だより、ホームページなどにより、学校の様子をわかりやすく伝えている。	90.4	93.0	94.5
7	学校は、家庭・地域・関係機関・見守り隊などと協力し、子どもの安全・安心の確保・事故防止に努めている。	93.3	90.0	97.8
13	子どもは、学校行事（運動会・音楽会など）に意欲的に取り組んでいる。	96.8	94.6	95.8
14	子どもは、児童活動（潮見まつり・ペア交流・なかよし班・クラブ・委員会）や学級会活動に意欲的に取り組んでいる。	90.6	89.2	91.1
17	子どもは、8時10分から8時25分の間に学校に着くように時間を守って安全に登校している。	91.0	92.4	

【今後の方向性】 継続、充実させながら進める事項

- ① 子どもたち同士がつながるよう学級経営や日頃の授業を大切に、学び合い、支え合う、心豊かな子どもの育成に努めていきます。
- ② 学校行事や児童会行事を通じて、なかよし（縦割り）班での活動を充実し、子どもたちが対話しながら、行事を創り上げていく過程を大切に、学びを深める特別活動の充実を目指していきます。
- ③ 地域を見守ってくださる方々との情報交換や潮見幼稚園、緑保育所との合同避難訓

練を行うなど、より安全で安心して学校生活を送ることができるような取組を継続していきます。

- ④ 学校での様子を積極的に配信することを継続し、情報発信の質を高めていくと共に、ご家庭と情報共有しながら連携をしていきます。
- ⑤ 自由登校では、ご家庭でも学校に着く時刻を意識して送り出していただいております。大きな問題もなく実施できています。登下校は、保護者の責任であることを各方面からも発信いただいております。引き続き、ご家庭でも登校時刻等について、ご協力をお願いします。

(2) 80%以上、概ね肯定的な評価を受けた項目

No	アンケート項目	R7	R6	R5
6	学校は、幼稚園や保育所、こども園に対し入学前から交流する機会を作ったり、中学校とも互いを知る機会を設けたりして、積極的に連携を図っている。	84.2	85.3	83.1
8	子どもは、学習に意欲的に取り組んでいる。	83.0	83.5	82.8
11	子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。	82.7	88.9	88.1
12	子どもは、友だちと温かいつながりをもっている。優しさと思いやりなどの豊かな心が育っている。	89.9	90.5	92.5
15	子どもは、あいさつやマナー（SNS、情報モラルを含む）など、基本的な生活習慣を身につけている。	89.9	84.5	88.6

【今後の方向性】

- ① 避難訓練、学校図書館の利用、小学校ごっこ（5年）、しおみタイム等を通して、潮見幼稚園、緑保育所等就学前施設との交流を行ってきました。特に潮見幼稚園とは、小学校の授業研究会、潮見幼稚園の保育研究会など、隣接する施設の強みを生かし、教職員の交流も深めております。また、潮見中学校とは、トライやる・ウィークで連携を図りました。引き続き校種を越えた異学年交流における学びの充実を図っていきます。
- ② 思いや考えを聴き合い、学び合うことができる授業での課題設定やペア・グループを活用することで、主体的、対話的な学びに向かう授業実践を進めていきます。
- ③ 児童会の挨拶運動などの活動に教職員も伴走していきます。マナーについては、今年度 PTA より企画いただいた情報モラルの授業も積極的に活用しながら、モラルやリテラシー向上のために、学校とご家庭が連携して、取組を進めていきます。

裏面へ

(3) 80%以下で改善が必要な項目

No	アンケート項目	R7	R6	R5
3	学校は、障がいのある方、異文化をもつ方たちなどに対する理解・交流を深めながら、誰にとっても居心地の良い学校づくりに努めている。	79.2	80.0	79.2
4	学校は、命の大切さや心を育てる環境づくりに努めている。	79.6	76.4	84.6
5	学校は、子どもの抱えるさまざまな悩みや課題を共感的に受け止めながら、子どもの内面理解に努めた指導を行っている。	73.3	74.8	81.3
10	子どもは、読書タイムや学習活動などを通して、本に親しんでいる。	73.3	80.0	73.1
16	子どもは、学習用端末（iPad）を学習で積極的に使用している。	67.1	76.3	74.2

【今後の方向性】

- ① 多様な価値観を持った子どもたちが集まる学校、また、潮見幼稚園、緑保育所、しおさいこども園や芦屋特別支援学校などとの交流を通して、それぞれの違いを知り、認め合うことにより、居心地の良い学校づくりに努めていきます。
- ② 6年生の宿泊学習（修学旅行）に向けて、低学年から平和に関する教材を活用した平和学習や1.17や3.11の追悼集会などを中心とした震災・防災学習などを通して、命の大切さや心を育む学習活動を行っていきます。
- ③ 子どもが抱える悩みや困りごとについては、教職員が複数で対応し、解決が図られるよう、子どもの思いを丁寧に聞き取りながら指導に努めていきます。学年教員と教育相談コーディネーター、管理職で事案を共通理解し、子どもの心に寄り添った指導になるよう、引き続き取り組んでいきます。
また、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等、関係機関とも連携しながら、子どもたちの様子を観察し、一人ひとりに応じた取組を進めていきます。さらに、校内サポートルームの機能充実を図るなど、みんなが楽しいと思えるような学校になるような取組を進めていきます。
- ④ 毎週行う学年研究会では、子どもたちの様子を交流し、自己の指導を振り返ります。子どもに共感しながら話を聞き、声をかけ、心に響く指導や支援について心がけていきます。
- ⑤ 授業の中でも単元に関連する本を多読する取組を進めております。また、朝の読書タイムや読み聞かせボランティアさんの取組も活かしながら、子どもたちに本を読む楽しさを今後も伝えていきます。
- ⑥ 学習用端末などのICT機器を授業等で「効果的に活用する」研究をさらに行っていきます。

2 全体を通して

(1) 子どもの心に寄り添った対応の充実

校内サポートルームや教育相談コーディネーターの周知など、子どもや保護者が安心して相談できる体制の周知をしていきます。

学校教職員だけではなく、引き続き、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、関係機関とも連携し、安心・安全な学校づくりに努めていきます。

(2) 「つながり」を軸とした学校文化の深化

多様な子どもたちが通う潮見小学校の強みを生かし、多文化共生教育の更なる充実と、学年・学級を超えた異学年のつながりを深めるなかよし（縦割り）活動の充実に向けた研究を進めていきます。

子どもの学びを視点とした就学前施設との交流、スムーズな中学校生活へとつながる交流など、今後も近隣施設とのつながりを大切にしていきます。

学校運営協議会やPTAとも協力しながら、地域とのつながりを学びに生かせるように協議していきます。

3 最後に

教職員の働き方改革に関連して、電話対応の時間帯、登下校の見守り、勤務時間内での個人懇談会、各学校行事に関する準備や対応など、ご協力いただき、ありがとうございました。子どもたちの学びの充実と教職員の働き方改革を視点にし、来年度の教育課程を編成していきます。また、今後の方向性については保護者や地域の方々と情報を共有しながら、学校運営協議会や各行事のアンケートなども含めて、状況に応じた取組を行ってまいります。